

「東日本大震災と私」

作成者 E.M

1. 地震当日 2011.3.11 の私の体験

2. 地震3ヶ月間の私の動き

3. 今私にできること

1. 地震当日 2011.3.11 の私の体験

私は地震が来たときに学校にいて、そのときは休み時間だった。2時46分、突然大きな地震が来て、みんな一斉に机の下にもぐった。先生や放送の指示に従ってじっと黙っていた。揺れが収まってからみんな速やかに体育館に集まり、すぐに放課となった。家に帰っても、電気も付かず水も出ず、なにもすることができなかった。

私はまだ状況がわかっていなかった。それは、こんなに大きな地震が来るなんて思ってもいなかったからだ。今まで私が経験した中で、一番大きくて長い、恐ろしい地震だった。

2. 地震3ヶ月間の私の動き

地震が収まった翌日からは、まずいろんなところに必要な物資を買いに行った。ところが、買いに行ったら長蛇の列。どこへ行っても人でいっぱいだった。やっとの思いで買えることができたが4時間もかかってしまった。ガソリンスタンドでは20リットルしか入れることができなかったし、コンビニでは水もパンも売り切れていてほとんどのものがなかった。家に帰ってももちろん電気は付かず暖房もなく、まずは体を温めることを優先した。幸い、家には石油ストーブがあり、なんとか暖まることができた。ご飯は茶碗にラップをして茶碗が汚れないようにしたり、携帯は電源を切るなどしたりして、いろいろと工夫をした。

2日後くらいに電気が通って、水が出て、通常の生活ができるようになった。私は地震が来る前までの生活を見直し、贅沢をしないようにこころがけた。

3. 今私にできること

- ①節電を心がける。
- ②無駄使いをせず、お金を大切にする。
- ③小さなことからでもいいから、自分にできることを探す。

On March 11, 2011, at 2:46 PM, the severe earthquakes came suddenly..

Electricity did not adhere even if my returning to the home, water did not come out, and anything was not able to be done.

It was the largest and longest terrifying earthquake which I had experienced up to now.

Electricity was resumed in two days, water came out, and we were able to live again as usual after several weeks.

Reviewing my life before the earthquake, I want not to do the luxury. I am going to bear it in mind.

